

太陽熱で温めたお湯でお風呂に入ろう☀️

1. 動機

ぼくの家では電気湯わかし機でお湯をわかしている。発電所で電気をつくる時にもCO₂が排出されている。そこで太陽熱で水を温めてお風呂に入れるか試した。

2. 方法

①集めたペットボトル70本に水を入れ黒色のアクリル絵の画をぬった。

②黒色は光を吸収するから水温が上がるかな

③光が反射しやすいようにアルミホイルをしいて、ペットボトルをならべて温めた。

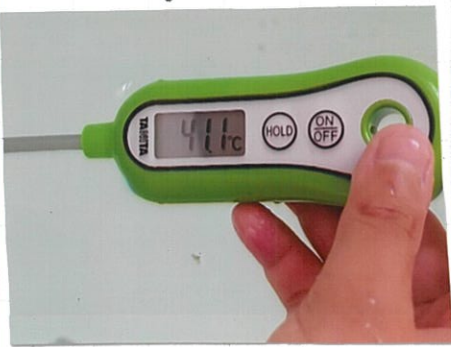
④お湯になったら、お風呂に移し入浴した。

3. 結果

ペットボトルの水温は、56.3度まで上がり、お風呂に入れる。48.8度。



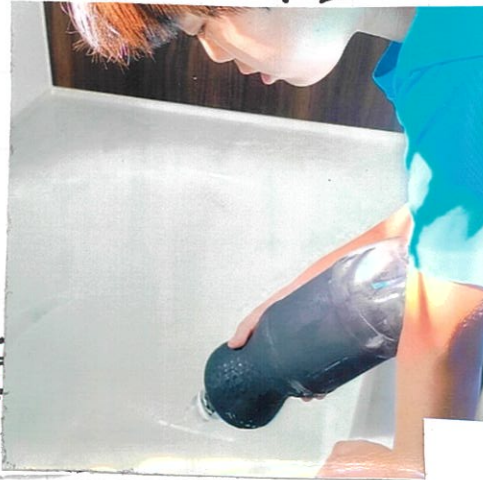
温度計は46.7°C



41.1°Cまで下がった!



これでお風呂に入れるぞ!



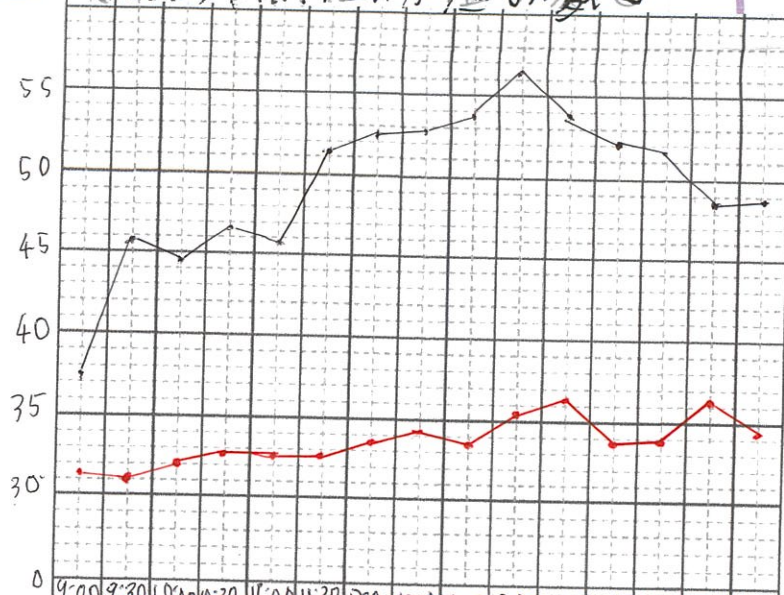
黒いアクリルにアルミホイルを入れたお湯で水温を上げる



3分お風呂に入ると...



黒いペットボトルの水温の変化



水温は13時30分に56.3°Cまで上がった!

4. まとめ

お風呂に入ると体がしんのかうから温まった。太陽の熱でこれだけ水が温まったのはすごい。この方法は停電の時も使えるし、CO₂を減らせるから一石二鳥だね



みんながアイデアを出し合えば"ゼロカーボン社会はつくれるよ!"

